

新技術研究成果証明書



研究名称：無人化ニューマチックケーソン工法による雨水貯留施設構築に関する研究

(成果証明書番号 第19003号)

研究成果品：「無人化ニューマチックケーソン工法による雨水地下貯留施設技術マニュアル」2008年3月

研究者：オリジナル設計株式会社

(研究の目的)

本研究は、無人化ニューマチックケーソン工法による雨水貯留施設について、概要・特徴を示し、縦型構造物となる貯留施設の性能を検証した上で、適用範囲・施設の計画・設計・施工および維持管理等に関する技術的事項について取りまとめることを目的とする。

(研究の内容)

本研究では、以下の3点について検討した。

- (1) 無人化ニューマチックケーソン工法による雨水貯留施設について、概要および特徴を整理した。
- (2) 縦型構造物となる雨水貯留施設の性能を検証した上で、施設の計画・設計・施工および維持管理等に係わる技術的事項を整理した。
- (3) 施工方法の比較検討により、狭隘な用地における施工性能および施工コストの検証および評価を行った。

(研究の期間)

2006年4月から2008年3月まで

(研究の成果)

本研究の成果である技術マニュアルを活用することで、狭隘な用地で十分な雨水貯留機能を保持した施設を構築する場合に対して、本技術を導入することにより、縦型構造物となる貯留施設の合理的な設計、狭隘な用地での施工方法の適応性、施工時における安全性の向上およびコスト低減できることを確認した。

(共同研究者)

本研究は、財団法人下水道新技術推進機構と下記の5社による共同研究である。

オリジナル設計株式会社 ジャパン・サイベックス株式会社 大豊建設株式会社
株式会社鶴見製作所 日本シビックコンサルタント株式会社

財団法人下水道新技術推進機構に設置された技術委員会において厳格なる審議を行った結果、本研究は上記の研究成果を確認できたことを証明する。

2008年5月28日

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長 松井大悟

